

独立行政法人家畜改良センターの平成29事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、農林水産大臣による平成29年度の総合評価が「B」であったこと等を踏まえ、役員の解任は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、農林水産大臣による平成29年度の総合評価が「B」であったこと等を踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	29事業年度評価における主な指摘事項	平成30及び31年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	有用形質関連遺伝子等の解析に関して、成果が目に見える数値で出ていることについて高く評価する。今後はセンター内の黒毛和種だけでなく品種全体の分布について調査してもらいたい。(有識者会議意見)	【30年度】 センター内の集団と合わせて、県が収集した検体についても一部調査した。 【31年度】 有用形質関連遺伝子の解析に関心のある県等の関係機関と連携して取り組んでいくことを検討する。

評価項目	29事業年度評価における主な指摘事項	平成30及び31年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	外国人の黒毛和種牛肉に対する嗜好性に関連する調査に関して、外国人に対して牛肉香の調査は高度であり困難な面もある。外国人が好む牛肉の柔らかさや脂肪、さらに調理法などについてアンケートをしてはどうか。(有識者会議意見)	【30年度】 第2回”日本の食品”輸出 EXPO2018 (10/10～12)での外国人の黒毛和種牛肉に対する嗜好性調査において、試食した和牛肉を好んだ理由（柔らかさ、ジューシーさ、風味）及び出身国での牛肉調理法についてアンケートを実施した。 【31年度】 これまで実施した外国人の黒毛和種牛肉に対する嗜好性について、取りまとめた結果を公表する。